

公明党

―公園の健康遊具の設置―

問 ここ数年、少子高齢化により公園に集う市民の年齢層が変化している。健康志向が強まる中、健康づくりのために体を伸ばしたり筋力をつけたりと、身近で継続できる健康遊具の設

置は大変使用価値があると多くの市民から要望が寄せられている。市民ニーズにこたえられるよう健康遊具の設置を考えてはどうか。

土木部長 新たな公園を整備するときや老朽化した遊具の取りかえの際に、地元自治会や地域の要望に沿って調整を行い、健康遊具の

設置を検討する。

―自動二輪車の駐車場対策―

問 本市にはバイクが駐車可能な駐車場は民間を含め六十九カ所、自動二輪車の駐車可能台数は百八十台分しかなく、特に新石切駅周辺や今回取り締まりの対象地域となる布施駅周辺など

はゼロ台という実態であり、自動二輪車の駐車場対策が必要と考える。布施駅周辺については駐車場整備株式会社が発行する駐車場などを活用できないか。

建設局長 東大阪市駐車場整備株式会社を含めた民間駐車場に対し、一台の駐車スペースに自動二輪車二台

から三台の駐車を確保するなど積極的に働きかける。―太陽光発電の設置補助―

問 この事業は地球温暖化防止対策の推進を目的として、個人住宅に太陽光発電システムを設置する場合に補助をするものであるが、本年一月から既に国制度を活用して設置された人は対象になるのか。またいつから補助を受けられるのか。

環境部長 国の補助制度と一体的に太陽光発電の普及を図っていくため、一月から国の補助を利用された市民に対しても補助を行う予定である。制度を決定し市民周知を行った上で、年内の実施を予定している。

真正議員団

代表質問 天野 高夫

国の政権交代に直面した今、今後の市政運営を問う！

白紙にもどった「長田駅前開発」東大阪新都心の活性化に向けた活用を望む

―今後の市政運営―

問 先の衆議院総選挙では日本の政権が民主党を中心とした連立政権に交代するという歴史的な結果となった。従来の政治のあり方が国民からノーとはっきり示され、地方政治にも影響を及ぼすことは必至である。我々も自民党员としてこの結果を真摯に受けとめ、市民の目線に立つて変革していかなければならない。

そこで、市長は今回の結果をどのように受けとめ、今後の市政運営を進めていくのか。

市長 新内閣がマニフェストに掲げているように、地

方分権がますます加速していくものと期待している。その中でも本市は中小企業

が栄える町であることが存立基盤であり、従前の私の市政運営方針と何ら変わることはない。今後も府と連携を図りながら今まで以上に緊張感を持って対応していきたい。

―子どもの学力の向上―

問 学力向上に一番大切なことは設備等ハード面の充実ではなく、教師が興味ある授業をどのように展開していくかである。また府教委の調査では校長のリーダーシップや授業研究の頻度が中学生の学力向上に関係

すると判明しているが、本市教育委員会の見解を。教育次長 教育委員会としては校長がよりリーダーシップを発揮し、ICTの教材等新たな指導方法の積極的な活用等の取り組みをさらに進めていく。そして児童生徒の学習意欲を高め、保護者、地域との連携を一層深めながら学力向上を推進していきたい。

―長田駅前の開発―

問 本年二月、東急不動産株式会社から撤退の連絡があり、長田駅前開発が白紙状態になった。

地元住民は大阪府都市開発(株)と本市に対し不信感と

大きな怒りを持っている。この場所は本市にとって重要な地域で周りには文具団地等があり、トラクタリーミナルも含め、本市総合庁舎とも隣接した、いわば「北西の玄関口」としてさらなる開発が望まれている。

モノレール南伸の期待もある中、引き続き都市開発(株)と調整されているが、関係部局が力を合わせ東大阪の将来に禍根を残さないよう最善の努力をすべきと考えるが、基本的な方針を。建設局長 今後は地元の要

望である活気ある施設立地や市長のマニフェストにある東大阪新都心のさらなる活性化実現に向け、都市開発(株)に対し強く働きかけ、関係部局と連携して進めていくよう努力していく。

―職員の意識向上―

問 職員研修はどのようにされているのか。特にコンプライアンスの徹底について、だがどのような指導されているのか。

先日報道されたJR西日本本報告書漏えい事件では「親方日の丸」の体質が抜



朝の体操で頭すっきり / 子どもの学力向上には学校長のリーダーシップが問われています。(花園小学校)

然防止、再発防止のため、職員の自覚を促し規範意識を高めるため倫理条例の制定や懲戒処分の指針等を制定し、機会あるごとに法令遵守、服務規律の確保に努めてきた。しかしその後も職員の不祥事が発生していることは遺憾であり、今後も一層職員の意識向上に努めていきたい。